



国指定史跡の福岡城跡をめぐる

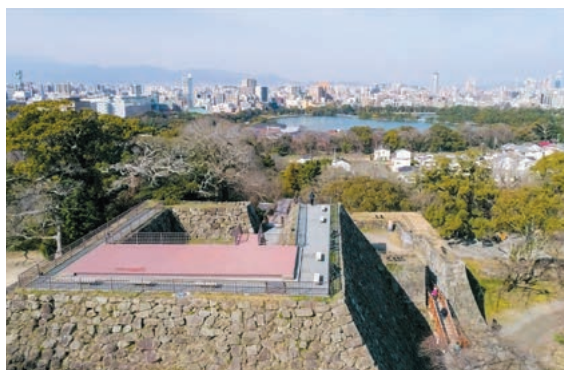
2014年(平成26年)、中央区の大濠公園(福岡県管理)と舞鶴公園(福岡市管理)の一体的な活用を図り、市民の憩いの拠点を作ろうという「セントラルパーク構想」が設定され、様々な整備が進められています。今回は、舞鶴公園内の国指定史跡「福岡城跡」についてご紹介します。

※この誌面は、福岡市経済観光文化局文化財活用部提供の資料をもとに当所で作成しています。

福岡城の築城と街並みの変遷

かつて福岡県は、筑前国・豊前国・筑後国の3つの国に分かれており、現在の福岡市は筑前国に位置していました。

1600年(慶長5年)、黒田長政は関ヶ原の戦いの功績によって徳川家康から筑前国ほぼ一国を与えられ、もといいた豊前国中津(大分県中津)から名島城(東区)に移り、福岡藩の初代藩主となります。三方を海に囲まれた名島城は、防衛に優れていたものの、城下町を築くには十分な広さがなかったことから、7年の歳月をかけて、福崎(中央区)に東西1km・南北700mの全国でも有数規模の平山型の城を築きました。「福岡」という名称は、黒田家の故地・備前国邑久郡福岡(現・岡山県)に由来しているといわれています。中世に国際貿易都市として栄えた「博多」と、新たな城下町「福岡」の双子都市として発展していくことになります。



▲展望台として活用されている天守台(提供：福岡市)

■今なお残る城下町の街並み

一般的に城下町の道路整備は、敵がまっすぐ進めないように道路幅を狭めたり、要所に門を設置したりして、随所に工夫が施されます。例えば、天神西交差点(中央区・西鉄グランドホテル前)や紺屋町東通り(中央区)のクランクした道は、かつての道路整備における屈曲路の名残といわれています。現在では、天神西交差点の道路幅は拡張されて、カーブも緩やかになっていますが、かつては今以上の屈曲路でした。



▲福岡城の城下町の様子 ※本図は元禄12年(1699年)の福博惣絵図に、藩の施設や街道の情報を加えて作成されたもの。
(出展：福岡市博物館 常設展示 公式ガイドブック『FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと』)

2025年春、潮見櫓が江戸時代の工法と部材で復元

2023年(令和5年)2月、潮見櫓(県指定有形文化財)の建物復元工事が着手されました。福岡城にはかつて47もの櫓があったといわれていますが、築城当時の場所に現存するのは多聞櫓(国指定重要文化財)のみです。

潮見櫓は、福岡城の北西の角(現・明治通り沿い、地下鉄大濠公園駅そば)に建てられたもので、名前の通り海上監視を行うための櫓でした。城下町からもよく見える場所だったため、当時の人々にとって、なじみ深い福岡城のシンボルだったと考えられています。

明治時代以降、福岡城跡は陸軍の駐屯地として使用されたため、櫓や古い建物の多くは解体・移築されてきました。その中で、潮見櫓は1907年(明治40年)、黒田家菩提寺である崇福寺(博多区)に花見櫓とともに移築され、長年にわたり崇福寺の仏殿として活用されていました。1990年(平成2年)、福岡市は復元を見据えて崇福寺から仏殿を買取りました。調査のために解体された部材は、現在に至るまで保存されています。今回の復元では、部材に残る釘の痕跡や柱の組み合わせ跡が調査され、江戸時代の姿が当時の工法と部材によってよみがえります。

福岡城跡にはこの他にも、当時の様子をうかがえる文化財が多く残っているほか、崇福寺には潮見櫓以外にも本丸表御門(県指定有形文化財)が山門として移築されています。



▲崇福寺に移築された当時の潮見櫓(提供：福岡市)



▲江戸時代から残る瓦など(提供：福岡市)

ふるさと納税が活用されています!

潮見櫓の復元には、2014年(平成26年)に福岡市が設立したふるさと納税「福岡城整備基金(通称・福岡みんなの城基金)」が活用されます。今回の工事費約4億円の一部に充てられる予定です。

なお、工事は現在、石垣の復元が終わり、櫓を建てるための基礎工事が行われています。

全国的にもユニークな国史跡の二重指定エリア! /

福岡城跡は、1957年(昭和32年)に国指定史跡となり、1982年(昭和57年)にはさらに一部区域が追加指定されました。

福岡城跡は舞鶴公園の一部として市民の憩いの場となっていますが、実は同じく舞鶴公園内にある鴻臚館跡も国指定史跡です。鴻臚館は、飛鳥・奈良・平安時代の外交施設で、大陸からの使節団の迎賓館や遣唐使などの宿泊所として使用されました。1987年(昭和62年)、平和台野球場外野席改修工事による発掘調査で発見され、福岡城跡の一部と重なっていることが分かりました。

2004年(平成16年)に鴻臚館跡が国指定史跡となり、全国初と同じエリア内の二重指定となりました。



史跡 福岡城跡 史跡 鴻臚館跡

▲福岡城跡と鴻臚館跡の史跡の範囲(提供：福岡市)

福岡城をもっと知る・楽しむには

イベント情報を発信/ 公式HP/Instagram

公式HPやInstagramでは、福岡城の歴史をはじめ、文化財を見学できる貴重なイベントなどが発信されています!

公式HPは
こちら



Instagramは
こちら



行ったら必ず手に入れたい!/ 福岡城の御城印

城内の「福岡城むかし探訪館」、「三の丸スクエア」で販売中!福岡城でしか手に入らないメタル御城印も...?



VRで江戸時代をタイムトリップ!/ 福岡城 ストリートミュージアム

敷地内にあるVRスポットにスマートフォンをかざすと、天守台からのぞむ城下の眺望など、360°パノラマのVRを体験することができます! (事前ダウンロードが必要です。)

